

世界史研究推進委員会

共同研究「高大連携」および「世界史への興味・関心を育む教材・指導法の研究」経過報告

相模原中等教育学校 上野信治

はじめに

2024年度は新課程の生徒が高校3年生となる年でした。従来から議論されてきた「歴史総合」だけでなく、「歴史総合をふまえて世界史探究をどう教えるか」へと現場教員の関心が移ってきたように見受けられます。

高大連携講座

2024年度は8月6日(火)～8日(木)にかけて、栄光学園中学高等学校を会場に高大連携講座を開催しました。参加申込者数は、高校生が40名以上、教員は70名以上となり、例年と同じく大変盛況の会となりました。3日間の授業や講義で生徒から投げかけられる問いや考察は、教員にとっても大きな刺激になっています。

「結びつく世界をどう学ぶか？」というテーマで12～14世紀(2022年度)、16～17世紀(2023年度)と続けて、世界の結びつきを学んできましたが、18～19世紀に焦点を当てた今年度の内容については本誌の該当頁を参照ください。2025年度は8月5日～7日で20～21世紀に焦点を当てた講座を予定しています。

2024年度の活動(定例会)について

日付と会場は次の通りです。4月24日(水)湘南高校、6月5日(水)新城高校、6月19日(水)相模原中等教育学校(日本史との合同)、8月5日(月)栄光学園中学高等学校、10月2日(水)、中央大学附属横浜中学校・高等学校、12月4日(水)鎌倉高校(日本史との合同)、12月18日(水)柏陽高校、1月29日(水)東京学芸大学付属高等学校。

定例会では、春・秋の研究大会に向けた報告のほか、読書会や教材交換・実践共有を行っています。読書会では、今年度から桃木至朗『市民のための歴史学』(大阪大学出版会)を読み始めました。学習指導要領でも「歴史的な見方・考え方」が重視されていますが、読書会を通して歴史学の思考法について理解を深めるとともに、日々の実践につなげるために議論を重ねています。

さらに今年度は定例会会場校の都合が付いた際に、授業見学を実施しました。可能な範囲で今後も続けていければと考えています。

その他

委員会や定例会の連絡はメーリングリストでお送りしています。委員会の活動に興味がある方がいらっしゃいましたら、お気軽に委員長(上野)や委員会メンバーまでご連絡ください。経験年数など関係なく、一緒に活動いただく仲間が増えることを心待ちにしております。(もちろん不定期参加でもかまいません)